

本試験を勝ち抜くための模試活用術

担当 TAC・W セミナー国家総合職担任 山下

1 国家総合職試験⇒択一試験では決まらない???

⇔されど…

国家総合職試験合格のためには？

合格最低点(平成 26 年本試験)

	法律	経済	政治・国際	院卒行政
1 次(標準点)	215	191	227	170
最終(標準点)	509	468	559	514

1 次試験がギリギリだった場合、最終合格するためにはどのくらいの得点が必要か？
(平成 26 年本試験)

得点例	法律	経済	政治・国際	院卒行政
基礎能力択一 (標準点)	20 (84)	20 (84)	20 (84)	15 (77)
専門択一 (標準点)	28 (131)	21 (111)	26 (145)	24 (96)
合計 (標準点)	48 (215)	41 (195)	46 (229)	44 (173)
政策論文試験評価 (院卒は政策課題討議) (標準点)	6 (67)	6 (67)	6 (67)	C (65)
専門記述評価 (標準点)	27 (130)	22 (113)	30 (167)	36 (176)
人物試験判定 (標準点)	C (98)	C (98)	C (98)	C (100)
最終合否 (標準点)	○ (510)	○ (478)	○ (561)	○ (514)



択一で最低点合格でも、2 次で平均点を取れば合格できる



択一でキチンと点を取ることができれば、2 次での上積みが低くてすむ



最低目標：基礎能力試験 50%・専門試験 60%～70%・専門記述 50%

2 模試三原則

①模試でたくさん失敗せよ！

②模試の後には2回復習せよ！

③本試験に向けて模試を位置づけせよ！

①模試でたくさん失敗せよ！

⇒本試験で失敗しないために、自分が犯しやすいミスを集積させる

ex. 数的処理でできもしない問題に拘ってしまい時間をなくした
解いていく順番を間違えた・時間配分を間違えた
集中力を失いミスを連発した

②模試の後には2回復習せよ！

{ 模試終了直後の復習・・・本来であれば解けるはずの問題を洗い出して復習
+
結果受け取り後の復習・・・自分が間違えた問題のうち、正解率の高いものにつ
つき、自分は解けないものかを検証する

③本試験に向けて模試を位置づけせよ！

⇒自分の合格スケジュールを立てて、その中に模試を位置づけする

模試を自己目的化しない

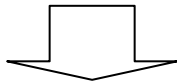
⇒自分がどこで点を取るのかを公開模試で確定させて、本番に活かす

○基礎能力試験の知能と知識の配分・専門試験の必答と選択の配分を明確
に目標付けする

×模試でよい点を取るために急仕上げで勉強するのは意味がない

☆ 5 月 24 日の 1 次試験に向けて

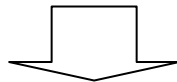
- 第 1 回択一模試：3 月 15 日(日)
- 第 2 回択一模試：4 月 12 日(日)



以上の模試をベースに、5 月 24 日の本番に向けて、**自分がこれから残された時間でやるべきことを明確にして、直前期の勉強をやっていく**

☆ 6 月 28 日の 2 次試験に向けて

- 第 1 回論文模試：3 月 29 日(日)
- 第 2 回論文模試：5 月 3 日(日)



以上の模試では、**自分が準備できている科目の精査**を行い、**1 次試験と 2 次試験の間の 5 週間でやるべきことを明確にする**

このような形で、**模試を有効に活用し、本試験突破のアイテムとして役立ててください。頑張りましょう！**